

令和3年度 第4回平田地域協議会会議録（要約）

日時	令和3年11月19日（金）午後1時30分～午後2時40分			
場所	ひらたタウンセンター 集会室			
出席委員	12名			
	1号委員	石井 光一	佐藤 美恵	池田 公夫
		前田 恵次	長谷部 耕次	今井 さち子
		丸山 清（副会長）	枝 春男	
	2号委員	石黒 由香（会長）	佐藤 正一	須田 祐司
		古川 麻衣子		
欠席委員	3名			
	1号委員	田中井 広志	高橋 宗一	
	2号委員	加藤 佐和子		
酒田市出席者	平田総合支所長	佐藤 まゆみ		
	平田総合支所長補佐兼建設係長	渡辺 一正		
	平田総合支所長補佐兼地域振興係長	高橋 美津		
	平田総合支所地域振興係主任	渡部 知也		
傍聴者	なし			
議事日程	1. 市民憲章唱和			
	2. 開会			
	3. 会長・支所長あいさつ			
	4. 会議録署名委員の選任			
	5. 協議			
	（1）市長報告会 市長報告内容について			
	（2）その他			
	6. その他			
	7. 閉会			

【協議会の概要】

三支所合同の地域協議会市長報告会に向けてこれまで話し合われた内容について、資料を基に協議した。

今後は一旦資料を作成して各委員に郵送し、内容を確認したうえで完成していくこととした。

【会議録（要約）】

2. 開会

▶事務局より開会と委員3名欠席の報告

3. あいさつ

○石黒由香会長

最近コロナもだいぶ落ち着き、平穏な日々を送っている状況。今年度の最終回となり、例年より少し早い締め括りとなるが、皆さんの意見を集約したものを今日は最終的に皆さんからチェックしていただき、市長により良い提案が出来たらと思う。よろしくお願ひしたい。

○佐藤支所長

今年も早いものであと2カ月をきった。最近の情勢について何点かお伝えする。来年度の予算編成は市の財政状況がコロナ禍による市の税収減もあり、例年にない程たいへん厳しいものになっている。本当に市民に必要なものなのかどうかを迫られている状況であるが、なんとか支所の予算も確保したく、がんばっているところ。ワクチン接種は11月21日で2回目の集団接種が終了となるが、平田農村環境改善センターが何カ月にも渡って使用できずご不便をお掛けした。また、平田地域ではコロナ対策をしっかりとおこない、地域に元気を届ける目的という各実行委員会等のご決断を頂き、各催し物を行ってきた。来週もひらた産業まつりがテイクアウト方式で行われるので是非おいでいただきたい。最後に来年度から、全ての支所に休日等の日直を置かないことになった。詳しくはひらたタウンニュースでお知らせしたい。今年度、新しいワークショップ形式で行ってきた市長報告会の内容について本日最終のまとめとなるが、よろしくお願ひしたい。

4. 会議録署名委員の選任

▶会議録署名委員は、これまでどおり出席者名簿の順番に指名することとし、佐藤美恵委員を指名した。

5. 協議

(1) 市長報告会 市長報告内容について

▶平田総合支所担当が資料に基づき説明した。

▶会長は説明事項に関して質問、意見を諮る。

○枝春男委員

3. 伝統文化の継承の内容で、記録映像を残すためには酒田市の民俗芸能保存協会に加盟すれば記録映像が残していけるはずなので、是非加盟するというを提案したい。

○池田公夫委員

資料1-1と資料1-2はどういう形で報告書に反映されるのか。

○高橋美津支所長補佐

資料1-2はこれまで出されたものをピックアップして表形式でまとめたもの。それを文章化したものが資料1-1ということである。今後資料1-1を三支所分まとめて市長報告会の資料となる。また、最終的なところは、会議録作成時と同様に各委員から確認していただく予定である。

○佐藤正一委員

全体的にうまく網羅してまとめてあるが、提言はしても結局記載したものが我々の所や地域の方々に返ってこないものの中にはあると思う。今回まとめられたものはほとんどソフト面なので、市の方でも進めてくださいと言い易いやすいタイプのようなものに仕上がっていると思うが、過去の事を少し教えてもらいたい。

○佐藤まゆみ支所長

参考資料1は昨年の報告会の資料。昨年は市長ミーティングを実施したため、その内容になっている。十二滝の周辺整備、公共交通、防災、平田総合支所庁舎の活用の4点を報告した。十二滝は

市長が現地で老朽化した吊橋を確認し、協議会からの撤去の提案を市長から受けとめて頂いた。今年の10月末から撤去工事取り掛かり、現時点では撤去済みである。これは長谷部前会長含め、昨年度平田地域協議会からの提案の成果と受け止めている。ただ、橋を撤去したから十二滝の整備が終わりではなく、以前のような賑わいを取り戻すための観光資源として、草刈り等維持管理や整備の検討が今後必要と思う。維持管理、そういったことも含めた整備をこれから検討していかなければならないと思う。公共交通は今年の1月に自治会長会とコミ振会長との最終協議により平田はデマンドタクシーを採用することで最終協議にて決定した。来年の8月1日からは現在の小林方面と中野俣北俣方面の2本のるんるんバスと、庄内交通の山寺川先線が無くなる。ただ1つ残るのは古湊アイアイ線が残るが、路線変更になる。現在は郡鏡を回っているが変更後は飛鳥・砂越の方を通過してアイアイひらたに行く路線に変更になって残る。そのほかはこの管内はデマンドタクシーということになる。担当課の都市デザイン課では来年8月1日の施行に向けて、デマンドの乗り方を皆さんから知って頂くための説明会を行う予定である。防災対策で、コロナ対策のうえでの避難所については市長の回答にあったとおりベッドや間仕切り等コロナ対策のグッズを市が準備している。また、こういった避難所だけでなくホテルや宿泊施設も避難所になるとのことで、宿泊施設に避難する際のタクシーの助成もある。そういった避難も含めた避難計画を地域の方でも考えていただきたい。コミ振単位での避難所開設訓練を行う際にもコロナ対策が講じられたものになっている。防災ラジオは、今月の自治会長会にて防災ラジオの説明を行い、次は予約申込みの受付となる。価格4,400円の半額を市から助成する形。戸別受信機の防災無線は無くなるので新しい防災ラジオを各家庭に配置をして防災の情報を得て頂きたい。平田総合支所の活用は数年前に平田地域協議会からもいろんな意見が出たが、現時点での活用はまだ決まっておらず、市全体の公共施設の活用を見ながらまずは行政側として検討していく段階とのこと。

○佐藤正一委員

十二滝の周辺の管理運営は、里山の会の皆さんが草刈等の整備をしているということだが、行政のほうからも強い応援や住民への声掛けが必要と思う。改めてこの協議会の力が大きいと感心した。今回のこの提案も期待したい。

○石黒由香会長

前年度の提案の説明があったが、今回の提案内容にある十二滝を使ったトレッキングのところで昨年度の提案によって安全に直して頂いた十二滝という文言も加えてお礼を兼ねて提案したいと思う。

○枝春男委員

資料1-2、交流人口の拡大の中で、生涯学習センターの所管を商業施設関係の側との内容だが、この商業施設関係とはどういったものなのか。

○丸山清副会長

私が提案したものだが、重要なことが数か所入っている。例えば、最上、赤倉地区にある宿泊施設を伴った施設や遊佐の白井新田の施設はコロナ以前は予約が取れない程いっぱいだった。地域が今持っている財産、B&Gやヨットカヌー場等山とのトレッキングを結んで平田に泊まりおいしいものを食べてもらいお金を落としてもらおうというのを考えた。例えば1泊の費用が300円~400円となるといろんな制約がたくさんつく。その施設利用者であることや地域内の利用に限定される等。そういったものをもう一度整理して考え直して、今あるものを有効に使うために考えた。そして例えば教育施設としては困難なのであれば商業施設にしたらいいのではないかという話から出た内容である。さらに皆さんからご意見を頂ければよりいいものができると思う。

○枝春男委員

商業施設というのをどういったところというふうにもうちょっと具体化した方がいいと思う。現状を見据えて、使いやすいように変えたいということで。

○丸山清副会長

少子化対策の関連で、例えば新たに平田地区に住宅を購入して住む場合への補助や特典はあるか。内陸のほうで過疎地域に東京から移住したという話を聞いたことがある。

○佐藤まゆみ支所長

例えば結婚してそれを機に家を建てた場合、建築課のほうでの補助があるようだが、特に中山間地域に手厚くするという事はなく、市内全域で要件が合えば対象になる。

○丸山清副会長

例えば税金が半分で済むとか、借家の際に割引になる等というのがあれば、若い人達のモチベーションも上がり、少し肩を押してくれるのではないかと思います。

○佐藤正一委員

もし無いようなら、平田地域協議会からの要望として文言を入れたほうが良いのではないかと。

○丸山清副会長

そういった想いというものをここに表せば、一歩前、半歩前ということになるのだと思う。

○池田公夫委員

資料1-1の提案のところで、4つの具体的な要望を実行していくための課題を解決するためにはそれをプロデュースする人が必要という、この文面は大事と思う。

○石井光一委員

資料1-2のプロデュースする人や人材を育てる必要があるという点で鶴岡市在住の伊東敬子さんという方のナリワイ工房は、いろんな企画をされており、田沢コミ振では先月県の事業にプロデュースされたガニ汁体験を実施した。伊東さんは東京から移住された方で様々な形をプロデュースしている方なので、こういった方たちから協力して頂ければ良い人材育成につながっていくと思う。

○須田祐司委員

生涯学習センターは委託管理運営のため1年1年の契約で終わってしまい、4~5年単位の計画が立てられないという現状がある。そこにコンビニ的要素を持たせた商業施設も置いてはどうかと思う。

○佐藤美恵委員

先ほどの生涯学習センターの活用の仕方の意見がとてもいい考えだと思う。コンビニ的なお店は山間部の方には無いので、そういった店があれば地域の人達も住みやすく、他から宿泊に来た方たちもわざわざ飛鳥まで来なくて済み、便利だねという声も聞こえていくと思う。

○古川麻衣子委員

去年の報告は十二滝周辺等ハード面がメインだったので、今回婚活イベントなどで人を増やす、子どもを増やすというこの意見を出した。夫やママ友さんも県外からお嫁に来たという方もいるので、そういう方が増えたら純粋に人口が増えるのではないかと思います。

○今井さち子委員

私は少子化対策と婚活というところで、他県から帰ってきたいが職が無い状況について。平田地区だけでなく酒田市全体の事なのかもしれないが、なかなか職が無い。檜橋地区でも酒田市よりも鶴岡市に勤めている方達が多いようだ。すぐに職場を増やすことは難しいと思うが、少子化対策の中に職場的なものの文言も入れてもらえたらどうかと思う。

○前田恵次委員

委員の皆さんがグループ討議してこれだけの課題をようやくここまで集約したと思う。ソフト面のことが大半なので、予算化していただきたいという表現もあったほうが良いと思う。

(2) その他

6. その他

○石黒由香会長

昨日、平田地区でビッグハートプロジェクトというプロジェクトチームが立ち上がった。内容はイベント広場に大きなハートのイルミネーションを設置して、ほっこりあったかいスペースとしてインスタ映えするスポットにということで立ち上がった。私も実行委員に入っているが、是非この協議会の委員からも協賛という形で協力していただきたい。

○佐藤まゆみ支所長

今の12月中から年明け位にかけて設置する。東部中学校生の下校ルートにもなっているので、明るくして元気を届けたいという想いもある。このビッグハートは12月はイベント広場に設置しているが、移動可能な可動式だし、季節を問わずどこでも使えるものなので、コミセン始め各イベント等必要なところがあればいくらかでもお貸しして、賑やかにしたいとのことだったので、よろしくお願したい。

7. 閉会

○丸山清副会長

お疲れ様でした。今まで出た内容を深掘りできたものや深掘りしきれていない内容などあるが、皆さんの貴重な意見が出て嬉しく思う。今後これをまとめることについては非常に苦労があるかと思うが、やりがいもあるのではないかと思う。本日の地域協議会を終わります。お疲れ様でした。